

2021（令和3）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（食物栄養学科）

IR 副委員長 伊木亜子

2022年3月14日に卒業した学生を対象としたアンケート調査の結果について、食物栄養学科35名（回収率95%）の内容に関して、以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点のうち、「5点」が23%、「4点」が51%であり、「1～2点」はいなかった。7割以上の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述による27件の回答があった。その内の56%が「実習での経験」に関するものであった。次いで「コミュニケーション能力」や「周囲との関係」など、人とのかかわりに関するものが15%であった。そのほか少数意見として、一人暮らしやWスクール、部活動、およびアルバイトなどの経験が示された。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」が最も多く、次いで「資格習得」と「アルバイト」が多かった。この結果から学業に力を入れている学生が多いことが伺える。一方で、サークル活動や学内行事、ボランティア活動への取り組みは少なかった。

設問5「本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください」について

ディプロマポリシーの7項目とその他加えた8項目から、選択式で複数回答を求めた。その結果、「知識」、「技能」および「コミュニケーション力」が身に付いたという回答が多く、一方で「表現力」は少数であった。

設問6「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問7「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について10点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。平均点は6.7点であり、6点と8点の回答数が多く6点以上は86%であった。5点以下は全体の14%で、2点以下はいなかった。

評価できる点では「実習機会が多いこと」や「Wスクール制度」、「設備や衛生面」、「教員の専門性」、および「学生のことを考えた指導」が挙げられた。不足している点では「行事食のメニュー案を考えること」や「アレルギーの勉強」などの専門性について、また「教科書を写しただけのプリントを配られ、意味があるのか分からない授業がある」という指摘があった。

設問8「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」およびについて5点満点で回答を求めた。その結果「3点」が57%、「4～5点」が26%であった。

設問9「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果3点以上が71%と、概ね希望に沿った進路だと感じている。

設問10「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が31%、「4点」が43%であり、「1～2点」の回答はなかった。7割以上の学生が入学してよかったと感じていることがわかる。

全体を通して

アンケート全体を通し、「成長できた」、「入学してよかった」と感じている学生が7割であり、8割以上の学生が本学の教育内容に満足していると感じていた。実習や課題を通じて、調理技術やコミュニケーション能力など栄養士に必要な能力を身に付け、自己効力感が高められたと考察する。

学生生活においては、学業のほかアルバイトへの取り組みが多いが、サークル活動や学内行事、ボランティア活動への取り組みは少なかった。2年間の学生生活がコロナ禍の影響を受け続けたため、学内行事や課外活動へ参加する機会が失われたことが一因に考えられる。そのため、「表現力」や「社会人力」の習得について評価が低く示され、授業内や授業外に様々な経験ができる機会をより多く提供していくことが必要である。

一方で注目すべきは、本学を勧めたいか「どちらともいえない」と6割が回答したことである。学生生活において主観的な自身の成長と取り組みに対する評価は満足するものの、コロナ禍の影響もあり他者とのかわりが少なく、客観的な評価が難しいのではないだろうか。また、教育内容に関する意見は貴重であり、特に不足を改善することにより学生の満足度を向上することができる。

以上より、学生が成長を実感し満足度を高め、卒業生が本学を強く勧めたいと考えられるように、教育内容と就職支援の充実、および授業内外での学習機会の提供により、確かな学生支援体制を整えるべくさらなる努力が必要である。

以上

2021（令和3）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（保育学科）

保育学科 野呂 祐人

2022年3月14日に卒業した学生を対象に実施したアンケート調査の結果について、保育学科51名（回収率98%）の内容を以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が39%、「4点」が同じく39%であり、「2点」「1点」はなかった。昨年度より若干の減少ではあるが、8割に近い学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述で回答を求め、例年通り「実習での経験」について記述したものが大半を占めた。次いで「ピアノの技術習得」など音楽的技術の習得に関する記述も多かった。昨年度と大きく違う点として「コミュニケーションの力」や「グループワークでの経験や合意形成」に関する回答が明らかに増えたことが挙げられる。全体を通し、授業に関するものがほとんどで、行事やサークルなど授業外での経験を記述した学生は少数であった。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」が最も多く、次いで「資格習得」と「友人づくり」が多かった。この結果から学業に力を入れている学生が多いことが伺える。昨年度に比べ「アルバイト」が減り、「友人づくり」の項目が急激に増えたことが今年度の特徴である。一方で、サークル活動や学内行事への取り組みは若干上昇したが、全体と比べると低い数値のままである。

設問5「本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください」について

ディプロマポリシーの7項目とその他加えた8項目から、選択式で複数回答を求めた。その結果、「知識」、次いで「技能」が多く、昨年度よりも若干減少したが、7割以上の学生が身に付いたと回答している。次いで多かった項目が「コミュニケーション力」であり、6割を超え、昨年度より上昇している。その後の「表現力」「判断力」は5割を切り、「思考力」「社会人力」の回答については3割を切った。全項目にある程度の回答が見られ、講義、実習、演習といった様々な形式の授業を取り入れている効果がみられる。しかし昨年度に比べ、「コミュニケーション力」を除き全体的に減少傾向であり、特に「思考力」が大きく減少している点が大きな課題である。

設問6「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問7「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について10点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。7点以上が82%を占め、7点以上の回答自体は昨年度の86%を若干下回ったが、10点をつけた

学生は昨年度よりも多かった(6%→27%)。6点以下は全体の18%で、4点以下はなかった。評価できる点では例年多く回答のある「実習前の指導」「ピアノの指導」に加え、「教員が個人個人に合わせて対応してくれる」という回答が多数あった。また、「通常の授業時でも実践的な学びが得られた」「実務家教員の実体験の話を知ることができた」という回答がいくつみられた。評価できない点については「音楽や製作系の経験不足」「特別支援をさらに詳しく学びたい」といった特定の分野の授業が不足しているという記述がいくつあった。また、「イベントの少なさ」「学科間の交流の不足」についての記述があり、コロナの状況下でいかに学内行事を運営するかを考える必要がある。

設問8「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が41%、「4点」が35%であり、7割以上の学生が勧めると回答し、昨年度よりもその割合が若干増加した。

設問9「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が47%、「4点」が33%であり、8割以上の学生が希望通りの進路だと感じている。引き続きSL教員を中心とした、学生個人の要望を聞き取ることができる就職支援の体制を整えていきたい。

設問10「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が52%、「4点」が33%であり、「1~2点」の回答はなかった。8割以上の学生が入学してよかったと感じていることがわかる。

全体を通して

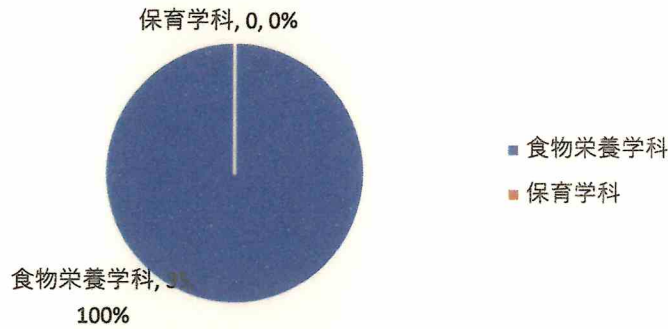
アンケート全体を通し、「入学してよかった」と感じている学生が8割を超えていて、概ねの学生は2年間の学校生活を満足していると読み取れる。昨年度に比べ、「成長できたかどうか」「身についた能力があるか」という部分が若干減少傾向である。また、昨年度に比べて、教員の対応が個人個人に合わせたもので良かったという意見が多く、授業内外含めた学生への対応自体は全体的に向上していると判断できる。

以下、各項目の向上のため、保育学科の「教育内容」についていくつ考察をしたい。昨年度同様、設問3や設問5の回答を照合すると、授業や実習を通じて「知識」「技術」を学生に伝達させることについてはかなり達成できていると分析できる。特筆すべきは「コミュニケーション力」の達成度が上昇したこと、そして自由記述で「他者との合意形成」や「他者との関わり方」についての回答が増えたことである。「グループワーク」「学生自身でプロジェクトを進める経験」が昨年度よりも充実していたのではないかと推測できる。一方で「思考力」を始めとし、減少した項目も多い。「思考力」について、「他者と思考を共有すること」と「個人でじっくり思考すること」は両立でき、むしろ関連していくものであるため、個人的な見解ではあるが、その関連性が学生に伝わっていない可能性があると考えた。今年度の良かった点を保ちつつ、授業内容の改善を引き続き検討していきたい。

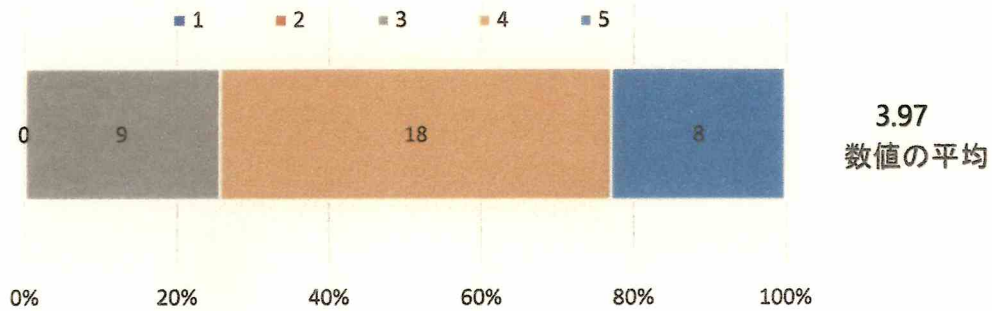
令和3年度 卒業時アンケート調査

35
 応答

1 学科を教えてください。



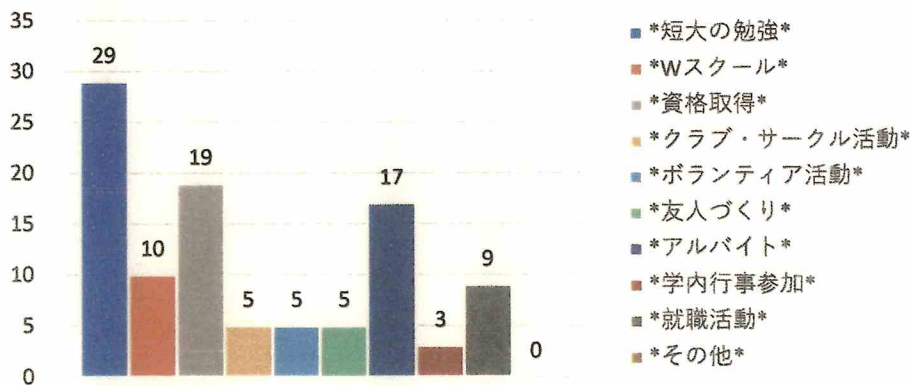
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



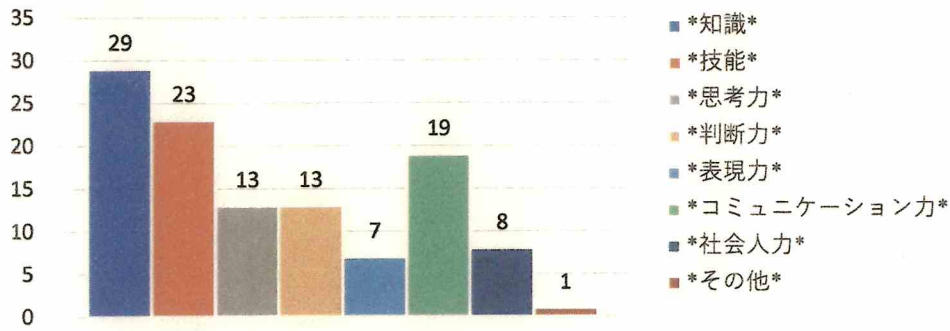
3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

別記

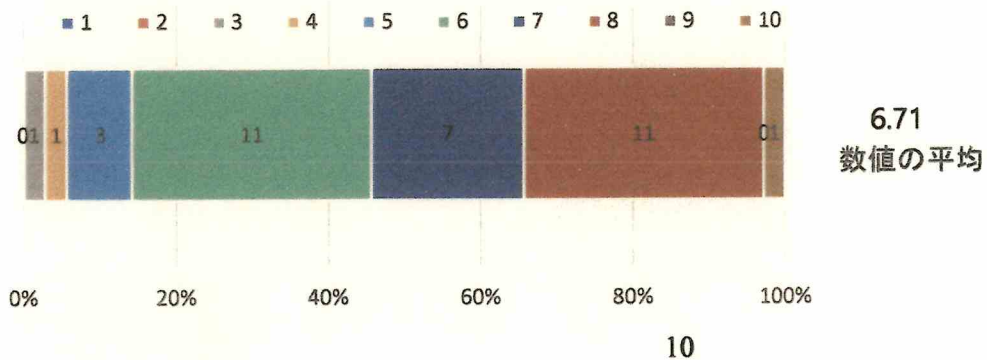
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。 (複数回答可)



5 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)



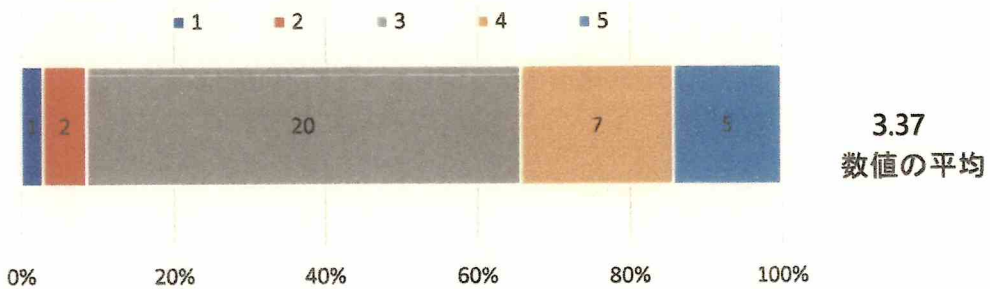
6 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



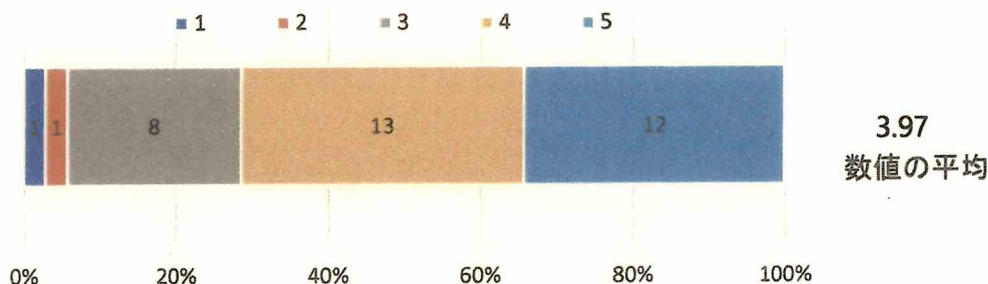
7 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

別記

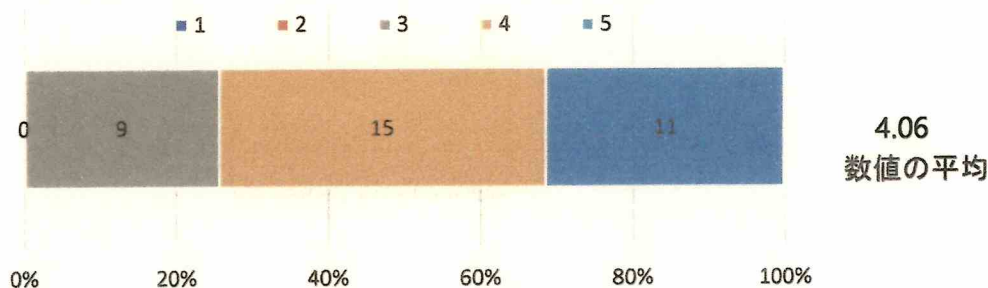
8 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。



9 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。



10 函館短期大学に入学してよかったと思いますか。



3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

実習が多くて調理技術が上がった
大事にするべきものを学びました

給食実習や保育園実習を経験し、周囲の人と協力することや実際の栄養士の業務について学べた。

実習

実習など

実習

教育実習

勉強 wスクール

友達との関わり

教育実習

一人暮らし

授業や実習を通して栄養士として成長できた。

アルバイト先で活かしていただいていることです。

学祭などで協力できた

集団給食調理

話すことが苦手だったけどいろいろな人と関わった！

実習を通してコミュニケーション能力など身についた

調理技術など

調理実習を通してどう行動すべきか考えられるようになった

最後まで特待生として成し遂げたから。

先生方に出会って色んなことを初めての土地で経験できた

栄養士としての実習や教職での実習

部活動での経験や育児しながらの勉強時間

周りを観察して合わせて行動することを学び、自分のレベルが上がったと感じました。

実習

実習

実習での活動

7 本学の評価できる、評価できない、不足している

教育内容を記載してください。

実技教科が技術として身につく点

実習がとても勉強になりました

実習がたくさんあって学ぶ機会が多くよかった

色々な専門知識を持つ方が多い施設が充実している

wスクール制度はとても良いと思います。

とても先生方が熱心に教えて下さる所

衛生面などが徹底していたところや実習での準備など

給食実習

行事食のメニュー案を考えることを授業内でやった方がいいと思いました。就活の際の筆記試験で役に立ちます。また、アレルギーの勉強も詳しくやることをオススメします。

生徒のこと考えてくれる

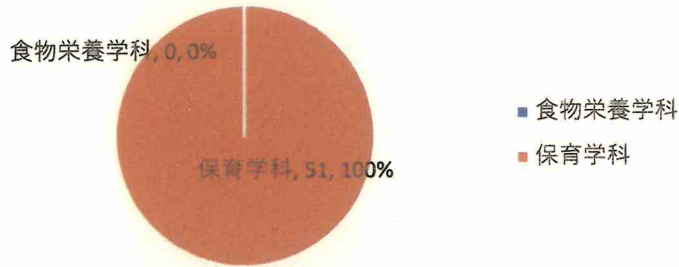
実習前の事前準備の取り組みは不安な部分を補ってくれるため評価できる

教科によってただ教科書を写しただけのプリントを配られ、意味があるのか分からない授業があるのはあまり評価できない

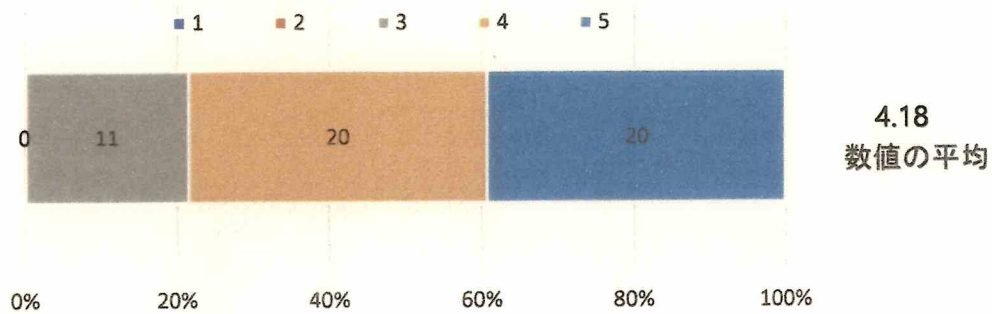
令和3年度 卒業時アンケート調査

51
 応答

1 学科を教えてください。



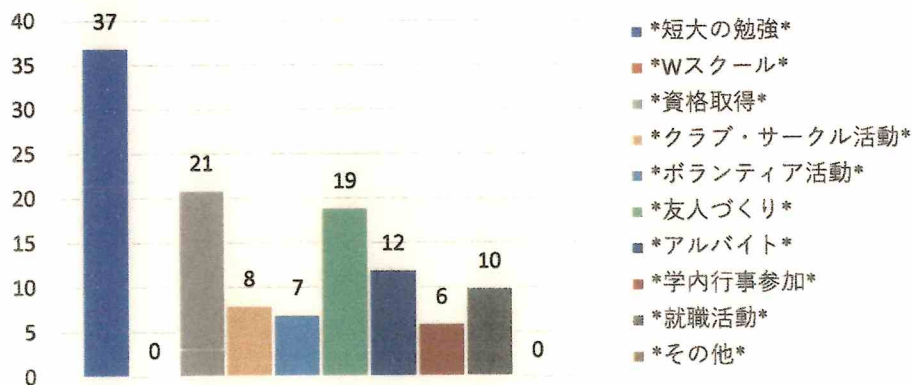
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



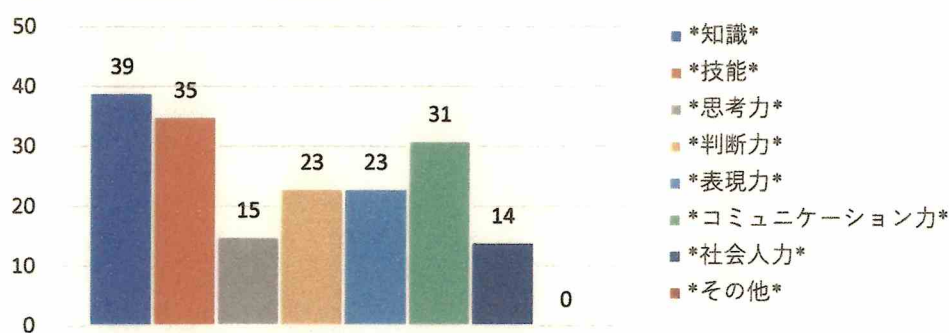
3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

別記

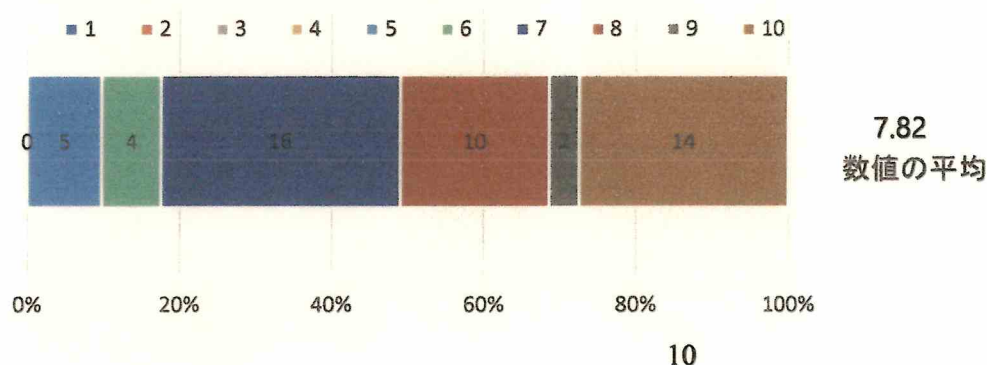
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。
 (複数回答可)



5 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)



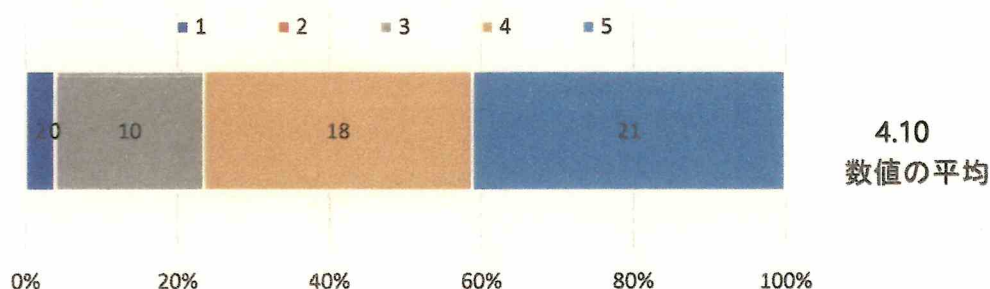
6 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



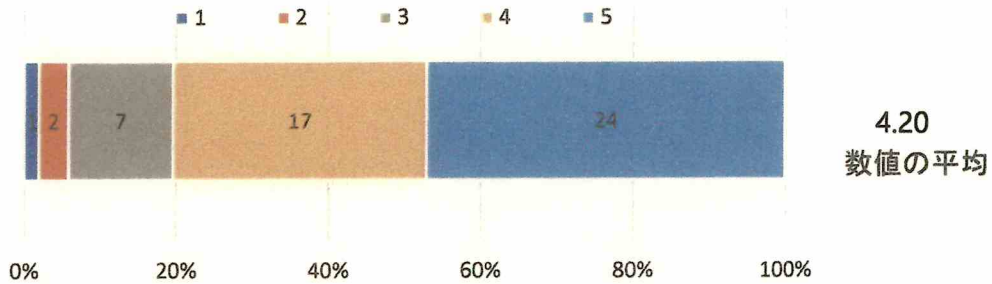
7 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

別記

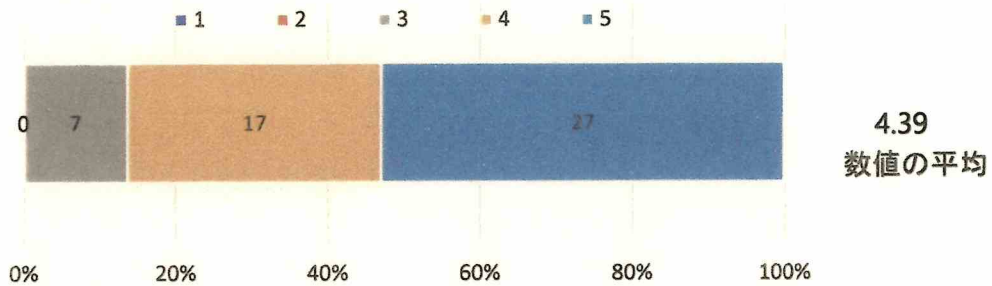
8 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。



9 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。



10 函館短期大学に入学してよかったですか。



3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

課題を計画的に取り組めた
実践的な授業やボランティア活動
保育の知識がついたから
自分が納得できるまで、努力できた。

実習による経験値の上昇
ボランティア
作ったもので表現するところ
実習
実習
ピアノが弾けるようになった
実習
実習で子どもたちに楽しんでもらえたときに成長できたと感じました。

意見の食い違いがあっても相手の話を聞いて尊重し話し合えるようになりました。

楽譜を読み、自分で伴奏をつけることができたとき

人前で話す機会が増えた
ピアノ、積極的に行動すること
コミュニケーション能力

実習やグループワーク
知識技能共に多くのことを学べたから。

保育実習、教育実習
実習

人前で話すこと
保育に関する学習
実習や実践の授業を通して

実習を通してコミュニケーション力や社会人としてのマナーなども身につけることが出来た。

子どもに関わるいろいろな知識をたくさん学べた
勉強面、社会に出る実習

ピアノなど様々な事ができるようになった

実習！

実践的な授業や実習

色々な友達に進んで声をかけたたくさんコミュニケーションを取れたこと。

グループワークで意見を出し合えるようになったこと

子どもへの関わり方や保護者の支援方法を深く考えられるようになったから。

授業や部活動を通して自分に自信を持てるようになってきたことと、心からやりたいと思えることを見つけたから。

楽譜を見てピアノを弾けるようになった

コミュニケーションをたくさん取れたこと

考え方や相手の立場になって考えて行動すること

仲間と協力して一つのことを進めたり成し遂げることができた

資格を取得できたこと。保育の知識を得られたこと。実習を通して、保育士の大変さを知り、素晴らしさも知ることができました。

実習を通して、最初は分からないことばかりだったのですが、授業で学んだ事などを思い出し、園の先生方に様々なアドバイスを貰い、研究保育が成功したことです。全てが納得のいくものではなかったのですが、子供たちが楽しんでいる様子を見て、更に教材研究をし、子供たちがずっと笑顔でいられるように励みたいと思うようになりました。

実習

ピアノ個人練習

資格が取れた！

実習に行ってる時

7 本学の評価できる、評価できない、不足している

教育内容を記載してください。

先生方と教務の連絡の取り合いが少ない

実習に向けて勉強ができる

音楽と図工がもっと充実していれば良いと思いました！

分かりやすく覚えることが出来た

授業内容が充実していると思う

座学の授業でも実践的なことが学ぶことができるところが評価できると思います。

話が早い人もいれば展開が速い人がいるのでもう少し学生に合わせて授業が出来るようになれば理解がもっと深まると思いました。

模擬保育や指導案作成に関する学びが多い為、実践で役立つと感じた。

歌の勉強、壁面飾りや誕生表、ペンダントなど画用紙等で作る製作の勉強

実習や就職活動における先生方の対応力はとても評価できる。

しかし実習を終えてからの就職活動はとても大変だったので夏休み前に進められるようにしてほしい。

子どもの医療や対応についてももっとくわしく学びたかった

先生方が寄り添ってくれ、授業もわかりやすい。

ピアノを一对一で学べることが評価できる。

評価できる...ピアノ

事務の方の対応が早く親切で安心できる

先生一人ひとりが親身になって進路などの話を聞いてくれる

ピアノの授業

特別支援についてもっと知りたかった。

実習

先生方が親密に相談にのってくれ分からないところも丁寧に教えてくれる。

イベントが少ないのが少し残念

子どもの保健やピアノの授業が評価できる。

生徒が困っている時などに気持ちに共感してれたり親身になって考えてくれたりなどがとてもいいと感じています。

保育に関する専門知識の習得、個別SLの自由な学び時間

全体を通して、カリキュラムは充実しているのですが、食物との交流があるのもっと良いと思いました。

実際に現場で働いていた先生方に実際にあった現場の実体験などのお話が直接聞ける具体的な授業をたくさん学ぶことができるところが良い。

1部の先生が課題だと私達生徒に授業で伝わる話し方ではなかった、その際にその先生は私はちゃんと伝えたと言っていたが、生徒からすると誰一人その先生の話聞いて課題だと理解できなかった、そのような先生がいるからこそ生徒が反抗するのではないかと思ったため

保育や教育の知識や技能を座学でまなぶだけでなく先生方の生の声からも多く学べた。ただ、研究したいこと、例えばcchや地域解決型学習については、学校側が提示したことではなく学生自身が学びたいことを選ぶ機会が欲しかったと感じる。

それぞれに合わせて対応してくださるところです。

詳しい内容でした

ピアノの個人練習がとてもいい

子どものことを常に考え、いることを想定しながら授業ができること。